

特集

在宅・地域栄養サポート
への第一歩

NSTの取り組みなど、病院内での栄養管理の機運が高まっていますが、それを在宅・地域で継続するのは、そう簡単ではありません。摂食・嚥下障害や食欲不振による低栄養ばかりでなく、経管栄養の適時見直しをせず、漫然と同じ処方を持続したことによる過栄養のおそれも、生きることの根源にある栄養状態に、在宅・地域でよりよくアプローチするために、まずできることは？

在宅・地域栄養サポートの重要性と課題

「なんとなく不健康そう？」にどうアプローチする？●新田國夫

在宅ならではの栄養アセスメント●富田奈穂美

栄養サポートにおける病院と地域の
ギャップを乗り越えるには？●安藤ひろ子

在宅栄養の悩みに答えるQ&A●豊田義貞

リハビリ、介護予防における

栄養サポートの重要性●若林秀隆

「動けない……」のは栄養の問題ではありませんか？

経管栄養シミュレータ教材の制作現場をモニターして

●あじさい看護福祉専門学校

実践報告

特別養護老人ホームに勤務する指導看護師養成研修

大阪府看護協会の取り組み●八尾英人ほか

マグネットステーション

訪問看護ステーションすかい●遠藤恵美子

編集後記

被災地の取材直後の悪夢。街が巨大ロボに襲われ、悲鳴や火の手があがるなか、友人・家族を捜し求めて逃げ惑い、今にも踏み潰されんというところで目が覚めました。子どもっぽい夢なのですが、とてもこわかったのです。巨大ロボはアニメタッチの単純な形のもの。災害の脅威を暗示するのだとしたら、われながら貧困な想像力です。被災地で起こったことに、想像力では追いつきません。特集座談会と巻頭特別記事では、大震災の只中にあった方々にお話をうかがいました。つらい状況が続くなか、お話をくださったことに心より感謝いたします。座談会メンバーで作成した「緊急時申し送りカード」は、当社のウェブマガジン「かんかん!」からダウンロード可能です。…杉本

9月1日は、120年前に上野から青森まで、鉄道東北本線が全線開通した記念日でもあります。若干“鉄分”多めの私は、当時の興奮を想像するだけでわくわくします。今年3月12日には、九州新幹線が全線開通しました。JRホームページでは震災後の自粛のため、わずか3日間で放映中止となった記念CMが公開されています。沿道で手を振る無数の人に見送られ、山や川や街や田畑を越えて列車が進む。ただそれだけの映像なのですが、眺めていると不思議な気持ちに。どこか違う地域の記憶と重なるせいか、この国が繋がっているという当たり前のことを素朴に伝えてくれるようです。燕飛が季節が過ぎたら、撫子咲く秋がまた来る。いろんなことがその繰り返しとともにあれるよう願っています。…青木

訪問看護と介護 第16巻 第9号（通巻183号）2011年9月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2011, Printed in Japan

1部定価：1,260円（本体1,200円＋税5%）年ごめり約購読料（税込，送料弊社負担，年間12冊）：13,200円（冊子のみ）／18,200円（冊子＋電子版）／13,200円（電子版／個人）／15,180円（電子版／共有）

販売部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：杉本・青木・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter http://www.twitter.com/houmonkango

医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp/ ウェブマガジン「かんかん!」 http://www.igs-kankan.com

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。

大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行なうことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（社）出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は，そのつと事前に（社）出版者著作権管理機構（電話03-3513-6969，FAX03-3513-6979，E-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。